

科目名	卒業制作 1							年度	2025	
英語科目名	Graduation production 1							学期	前期	
学科・学年	情報処理科 2年次		必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	小高、齋藤		教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア(小高)、プログラマ(齋藤)		
【科目の目的】 学科で学んださまざまな知識や技術を基に、総括として目的を持ったアプリケーション・システムを制作する。グループごとに作業に取り組み、自ら必要なことを学びつつ、他のメンバーと協力しあいながら、これから社会人として必要とされる協調性やコミュニケーション力を身に着ける。プロジェクトを進める上で必要なスケジュール管理、課題管理、情報管理などを意識しながら、個人ごとの作業状況を把握し、複数の人間が関わる実務に近い開発の体験を行うことを目的とする。										
【科目の概要】 グループを作成し、テーマを1つ決め目的を持った作品を制作する。前期の当科目で、実装する機能やメンバーの役割分担、スケジュールなどを決定を主に行い、後期の卒業制作2では、設計書を作成しプログラミングを主に行う。										
【到達目標】 学んだ知識や技術を集約し、グループで協力しながら1つの作成を制作し、卒業展で発表することが目的となる。一人で作業するだけではなく、他のメンバーと協力・連携をすることを意識しながらスケジュール通りに作業をすることができるようになる。コミュニケーションの重要性を理解し、自分のことだけではなく、他のメンバーの状況を確認しながら必要であれば軌道修正を行い、作業ができるようになる。また作業期間が決まっているため、期間内に決められた目標を達成できる能力を身に着ける。										
【授業の注意点】 授業開始時にグループを作成し、そのグループでテーマを決め、最後まで作業を行う(途中でグループ変更はできない)授業で必要となる資料はグループ単位で準備すること。計画と役割分担はしっかり行い、バランスを取る。評価はグループ単位で行うため、メンバーそれぞれが責任を持って作業をすること。総授業時間の4分の3以上出席していない場合、評価対象にならない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	グループワークに必要な協調性を身に着けている			グループワークに必要な協調性の重要度を理解している			グループワークに必要な協調性を身に着けていない			
到達目標 B	グループワークに必要なコミュニケーション力を身に着けている			グループワークに必要なコミュニケーション力の重要度を理解している			グループワークに必要なコミュニケーション力を身に着けていない			
到達目標 C	目標達成に向けた計画を立案する能力を身に着けている			目標達成に向けた計画を立案する能力の重要度を理解している			目標達成に向けた計画を立案する能力を身に着けていない			
到達目標 D	グループで意見を出し集約する方法を身に着けている			グループで意見を出し集約する方法の重要度を理解している			グループで意見を出し集約する方法を身に着けていない			
【教科書】 グループごとに必要な資料を各自用意する										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 作品全体を総合的に評価します。 各自またはグループの作業内容に関する報告書の内容と提出状況を評価します。 中間発表、最終発表、卒業展での展示について評価します。 授業への積極的な参加や態度を評価します。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		卒業制作 1			年度	2025
英語表記		Graduation production 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	内容の説明、グループ作成(1)	授業内容を理解する。制作グループを決めることができる	1 授業内容の理解	授業の目的と内容を理解する	3	
			2 グループ決め	制作物を作るグループを決定する		
2	グループ作成(2)	リーダーの決定 制作グループを決定し、リーダー、副リーダーを決めることができる	1 役割の理解	グループ内の役割について理解する	3	
			2 役割決め	グループ内の役割決めをする		
3	テーマの決定(1)	作成するシステムのテーマを決めることができる	1 発想法	アイデアの出し、まとめる手法を理解する	3	
			2 テーマ決め	グループの制作物を決定する		
4	テーマの決定(2)	作成するシステムのテーマを決めることができる	1 発想法	アイデアの出し、まとめる手法を理解する	3	
			2 テーマ決め	グループの制作物を決定する		
5	テーマの決定(3)	作成するシステムのテーマを決めることができる	1 発想法	アイデアの出し、まとめる手法を理解する	3	
			2 テーマ決め	グループの制作物を決定する		
6	情報収集、仕様や環境の決定(1)	実装する機能、開発する環境などを決定できる	1 機能決め	制作物に必要な機能を決定する	3	
			2 開発環境決め	制作物に必要な開発環境を決定する		
			3 開発言語決め	制作物に必要な開発言語を決定する		
7	情報収集、仕様や環境の決定(2)	実装する機能、開発する環境などを決定できる	1 機能決め	制作物に必要な機能を決定する	3	
			2 開発環境決め	制作物に必要な開発環境を決定する		
			3 開発言語決め	制作物に必要な開発言語を決定する		
8	情報収集、仕様や環境の決定(3)	実装する機能、開発する環境などを決定できる	1 機能決め	制作物に必要な機能を決定する	3	
			2 開発環境決め	制作物に必要な開発環境を決定する		
			3 開発言語決め	制作物に必要な開発言語を決定する		
9	情報収集、仕様や環境の決定(6)	実装する機能、開発する環境などを決定できる	1 機能決め	制作物に必要な機能を決定する	3	
			2 開発環境決め	制作物に必要な開発環境を決定する		
			3 開発言語決め	制作物に必要な開発言語を決定する		
10	情報収集、仕様や環境の決定(7)	実装する機能、開発する環境などを決定できる	1 機能決め	制作物に必要な機能を決定する	3	
			2 開発環境決め	制作物に必要な開発環境を決定する		
			3 開発言語決め	制作物に必要な開発言語を決定する		
11	情報収集、仕様や環境の決定(8)	実装する機能、開発する環境などを決定できる	1 機能決め	制作物に必要な機能を決定する	3	
			2 開発環境決め	制作物に必要な開発環境を決定する		
			3 開発言語決め	制作物に必要な開発言語を決定する		
12	スケジュールの説明と設定	今後のスケジュールを確認し、グループと個人のスケジュールを設定できる	1 全体スケジュール決め	プロジェクト全体のスケジュールを決定する	3	
			2 個別スケジュール決め	役割ごとのスケジュールを決定する		
13	スケジュールの説明と設定	今後のスケジュールを確認し、グループと個人のスケジュールを設定できる	1 全体スケジュール決め	プロジェクト全体のスケジュールを決定する	3	
			2 個別スケジュール決め	役割ごとのスケジュールを決定する		
14	プレゼンテーション(1)	グループごとにテーマや実装機能、環境などをまとめ、発表ができる	1 発表資料の作成	資料にもとづきプロジェクトについて発表する	3	
			2 発表の聴講	聴講する姿勢を理解する		
			3 発表資料の改善	他チームの発表を聞き、自己の発表内容を改善する		
15	プレゼンテーション(2)	グループごとにテーマや実装機能、環境などをまとめ、発表ができる	1 発表資料の作成	資料にもとづきプロジェクトについて発表する	3	
			2 発表の聴講	聴講する姿勢を理解する		
			3 発表資料の改善	他チームの発表を聞き、自己の発表内容を改善する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等